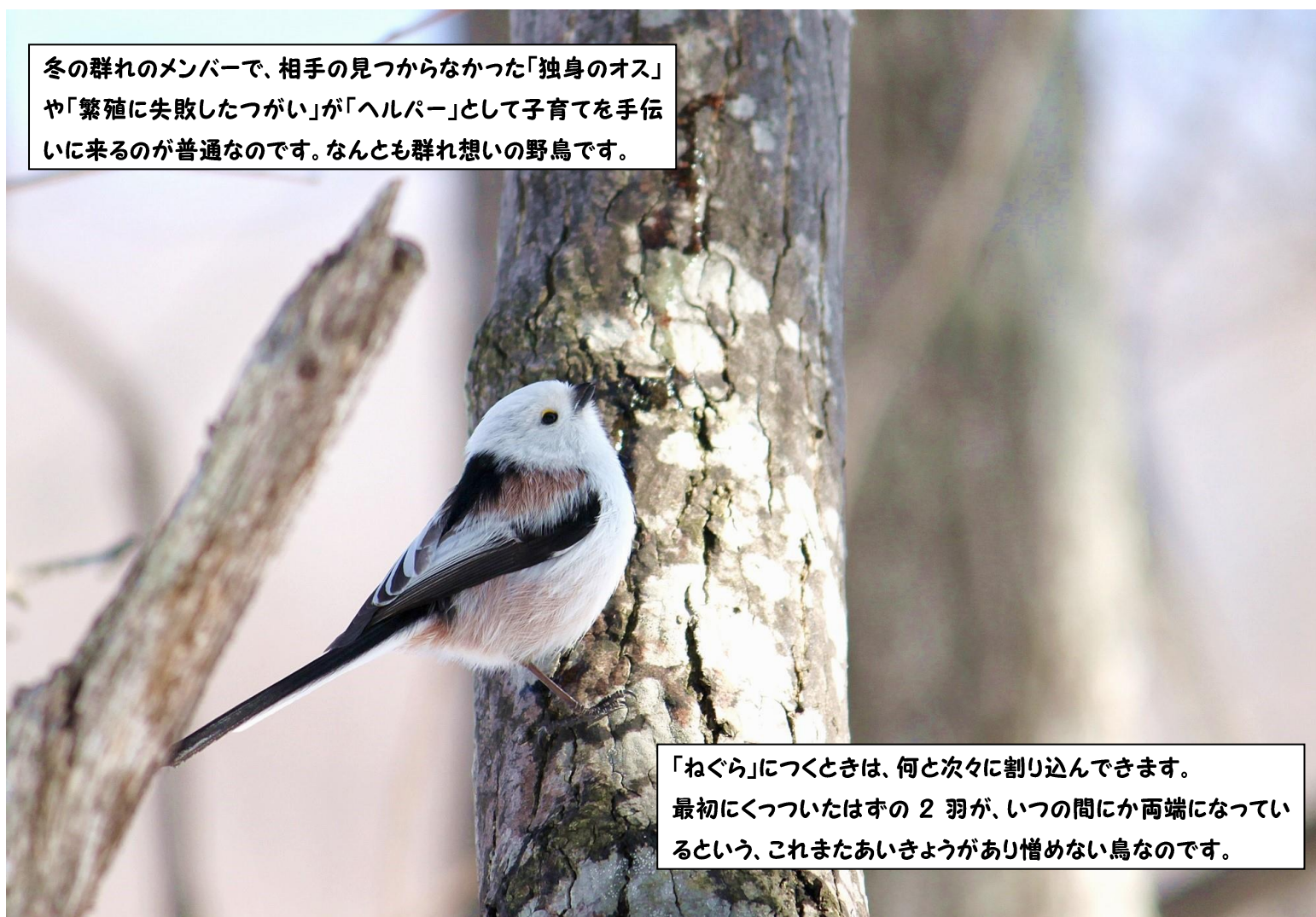


大雪山国立公園

山層雲峡ビヅタセンター

冬の群れのメンバーで、相手の見つからなかった「独身のオス」や「繁殖に失敗したつがい」が「ヘルパー」として子育てを手伝いに来るのが普通なのです。なんとも群れ想いの野鳥です。



「ねぐら」につくときは、何と次々に割り込んできます。最初にくついたはずの2羽が、いつの間にか両端になっているという、これまたあいさようがあり憎めない鳥なのです。

【シマエナガ：シマエナガと呼ばれるエナガの亜種】

スズメとほぼ同じ大きさで、平地から山地の森林に周年生息しています。鳴き声は「ジュリジュリジュリ」と姿は見えなくても「あっエナガだ」とすぐわかるほど特徴のある鳴き声です。つぶらな瞳と小さなくちばしがとても可愛らしく、エナガが好きという野鳥ファンが多いです。動きも「ちょろちょろ」しており、時には地面に降りて雪を啄んだり、枝をブランコ代わりに「プーラプーラ」している仕草もあり、中々の愛嬌者です。

THE・自然現象！～2月から3月にかけて様々な自然現象が見られました



樹氷



霧氷



サンビラー(太陽柱)



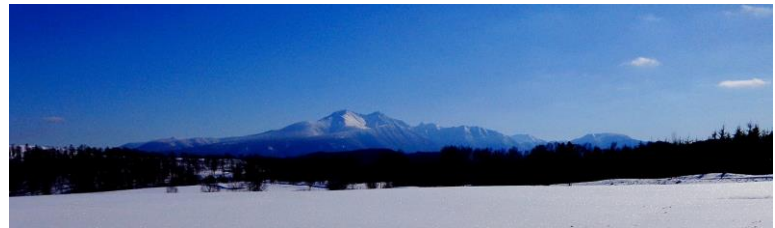
巨大氷柱群

「樹氷」 過冷却した霧粒または雲粒が樹木に吹きつけられたもの。

「霧氷」 過冷却した微小な水滴が木の枝などについて直ちに凍ってできた白色のもろい氷。

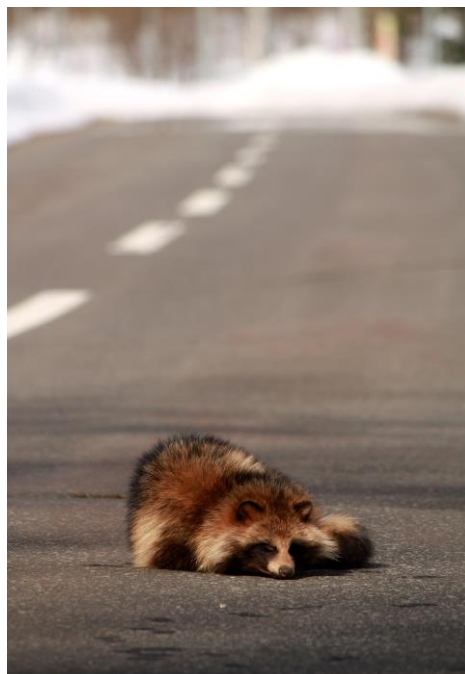
「太陽柱」 雲の中に六角板状の氷晶があり、風が弱い場合、これらの氷晶は落下の際の空気抵抗のために地面に対してほぼ水平に浮かぶ。このほぼ水平に浮かんだ板状の氷晶の表面で太陽からの光線が反射され、太陽の虚像として見えるもの。

「氷柱」 雪が融けた水が垂れ落ちる時点で寒気に晒され氷結し、上から下へ徐々に成長したもの。



2月末の寒い朝、大雪山連峰が見事な雄姿を見せてくれました。冬は気象条件が厳しい中、ここまで鮮明に見られることはあまり数の多いものではありません。 左：表大雪連峰一部 右：北大雪連峰一部

自然に生きる野生動物の悲しい光景を見ました



「エゾシカ」が覗き込む雪山の下には、衰弱して自然死した「エゾシカの仔」が横たわっています。当然、カラス等々に目を付けられ、瞬く間に……。母シカの姿もなくなり、いよいよ諦めたのかなと思いきや、写真の通り高台から我が子をじっと見つめていました。変わり果てた仔の姿を、どんな思いで見っていたかと思うと……。もう少しで辛い冬を乗り越えられたのに……。冬眠から目覚めた「エゾタヌキ」。餌を探して歩きまわり、こちらも完全に衰弱していました。周りには死期を悟ったかのように無数のカラスが……。自然界では仕方のないことですが、何ともやりきれないです。



←【天然記念物・クマゲラの採餌木】

実に定期的に掘ったものです。このように、木に穴をあけ中にある昆虫の幼虫を、長い舌を利用して捕食します。このクマゲラ、アイヌ語で「ちプタチカプカムイ」の名があり、舟・掘る・鳥・神という意味です。木を見ると納得です。



←【落角】

2月の後半から、センター裏に度々顔を出していたエゾシカ、よく見ると「角」が落ちたようです。毎年春先に自然と角が落ちますが、確認できたのは2月、意外と早くに落角するようです。

撮影失敗!!!



2月中旬、「オオモズ」に出会いました。が、残念ながら撮影に失敗……。かなり珍しい野鳥で、「稀に見られる冬鳥」として野鳥図鑑に記されています。写真左がオオモズ、右が比較的容易にみられるモズです。オオモズは大きさが約24cmと、モズよりも一回り大きくその容姿もまったく違います。北海道では1974年に浜頓別町で巣立ち後の幼鳥を連れた個体の観察例はあるものの、繁殖に関連した記録はありません。この近辺では、「上川町自然科学研究会」の「上川町の自然」冊子の中で「上川町産鳥類目録」から1982年にオオモズの観察例観察記録があるだけとなっています。その後調査が行われていませんが、どこかで観察はされていると推測されます。

何と、奇跡的にも3月下旬に再び「オオモズ」に出会いました。意外と多くの数が渡ってきているのかもしれない。





■平成29年度年間講座策定中■

4月には確定し皆様にご案内する予定です

★★観察会は事前申し込みが必要です★★

★★詳細についてはお問合せください★★



折って切って開いたら、あらすテキ♪
子供から大人まで楽しめます。
参加自由・無料/申し込みは不要です

■2016大雪山フィールドノート写真展■ (日時) 常時展示

(内容)一年を通じた大雪山の自然を写真と解説文で紹介しています。

(場所)ビジターセンターレクチャールーム

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

しきものカレンダー

1月 ↓		上川・層雲峡気象 ↓ (降雪は10cm以上記載)		
1/21	サンピラー (太陽柱)	上	1/24 上川町最低気温マイナス25.7℃ 今期最低	
1/22	幻日、キタキツネ国道で車の犠牲に	層	1/27 層雲峡降雪10cm	
1/27	シメ、アトリ多数 「雪まりも」現象	上	上川日最大瞬間風速21.6m/s 1月観測史上1位	
1/31	エゾモモンガ	上	1/28 層雲峡降雪18cm 上川降雪17cm	
2月 ↓		1/31	1月降雪量 層雲峡118cm 上川87cm	
2/1	彩雲	層	昨年同月 層雲峡213cm 上川217cm	
2/2	クマゲラ、クマゲラ採餌木・営巣木	層	1月積雪深 層雲峡127cm 上川81cm	
2/3	イイズナ、オオアカゲラ	層	昨年同月 層雲峡119cm 上川78cm	
2/4	オジロワシ2羽	上	1/31 層雲峡月最深積雪127cm 1月観測史上1位	
2/5	霧氷	上	2/1 層雲峡降雪14cm 上川降雪22cm	
2/11	霧氷	上	2/16 17日早朝にかけて層雲峡・上川降雨	
2/14	樹氷	層	2/16 センター前最高気温プラス5℃	
2/14	オオモズ (稀に見られる冬鳥)	上	2/17 層雲峡降雪23cm 上川17cm	
2/15	樹氷	層	2/18 上川降雪14cm	
2/16	クマゲラ、ウソ	上	2/23 層雲峡降雪12cm 上川降雪10cm	
2/16	オジロワシ2羽	層	2/24 層雲峡降雪32cm 上川降雪11cm	
2/21	エゾシカ残滓にオジロワシ2 オオワシ1群がる	層	2/25 層雲峡降雪13cm 上川降雪12cm	
2/21	キタキツネ	上	2/26 層雲峡降雪11cm	
2/22	彩雲	層	2/27 層雲峡月最深積雪155cm 2月観測史上2位	
2/26	エゾモモンガ	上	2/29 2月降雪量 層雲峡141cm 上川113cm	
2/27	クマゲラ	上	昨年同月 層雲峡179cm 上川155cm	
2/28	クマゲラ	上	2月積雪深 層雲峡155cm 上川94cm	
			昨年同月 層雲峡129cm 上川96cm	
3月 ↓		3/3	層雲峡降雪12cm 上川降雪11cm	
3/1	レンズ雲	層	3/4 層雲峡降雪10cm	
3/2	エゾシカ残滓にオジロワシ1 オオワシ1群がる	層	3/16 層雲峡降雪11cm 上川14cm	
3/3	クマゲラ、キタキツネ、キバシリ	上	黒岳気象他 ↓	
3/7	オジロワシ	上	1/27	七合目積雪330cm (ロープウェイ再開)
3/9	エゾモモンガ、エゾリス、オジロワシ	上	2/7	七合目積雪370cm
3/11	オジロワシ、レンズ雲	上	2/17	七合目積雪370cm (リフト再開)
3/11	オオワシ	層	2/22	七合目積雪380cm
3/12	オジロワシ、シメ、ウソ、飛沫(ひまつ・しがき)着氷	上	2/24	七合目積雪385cm
3/14	アトリ、オオワシ、オジロワシ (層)	上	2/25	七合目積雪390cm
3/15	霧氷	上	2/27	七合目積雪420cm (前年同月385cm)
3/16	オジロワシ	層		既に昨年最高積雪量(410cm)を上回る
3/17	エナガ、ウソ、樹氷	層	3/9	七合目積雪435cm
3/18	オジロワシ	層	3/19	七合目積雪430cm
3/19	オオアカゲラ	層		

カレンダー一期間: 1/21-3/20 上・上川 層・層雲峡

発行: 大雪山国立公園



TEL 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401

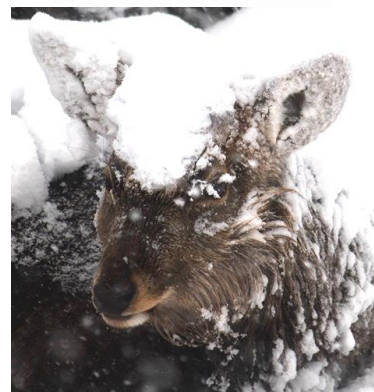
アドレス: <http://www.sounkyovc.net/>

開館時間 6月~10月/8:00~17:30無休・入館無料

11月~5月/9:00~17:00月曜日休(祝祭日は翌日)

2017年3月25日発行

今日の子ビたね



頭に雪があ...



白黒紙面でご覧の皆様へ ~ パソコンをお持ちの方は、上記のアドレスで公開していますので、そちらもご覧下さい。